

脱炭素社会の実現に向けて カーボンニュートラルセミナー

4月18日
火
13:40~

会場：北見工業大学3号館2階多目的講義室（北海道北見市公園町165番地）

北見工業大学は、知床世界自然遺産をはじめとする雄大な自然に囲まれる北海道北東部・オホーツク地域に位置する大学です。北見工業大学では、「地域循環共生研究推進センター」を設置し、地球温暖化等の環境変動に対する課題解決や環境保全に向けた研究を推進しています。自然への畏敬の念を強く意識することができるこの地域において、地域との連携による脱炭素社会実現に向けた取り組みの事例・情報を共有するためのカーボンニュートラルセミナーを開催します。

13:40

講演
1

カーボンニュートラルに向けた各国の 政策動向と研究開発を含む投資動向

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） 技術戦略研究センター 調整課主任 岩崎 亮太 氏

NEDOは持続可能な社会の実現に必要な技術開発の推進を通じて、イノベーションを創出する、国立研究開発法人です。「グリーンイノベーション基金事業」などのリスクが高い革新的な技術の開発や実証を行い、社会課題の解決を目指しています。技術戦略研究センターでは、調査・研究を通じ、産業技術やエネルギー・環境技術分野の技術戦略の策定などに取り組んでいます。

14:30

講演
2

自然エネルギーによるまちづくり ～四万十川源流域における まちづくりの挑戦～

高知県高岡郡梶原町環境整備課 副課長 石川 智也 氏

梶原町は「ゼロカーボンシティ宣言」を2021年12月に行い、脱炭素社会の実現に向けて新たなスタートを切っています。2022年4月には、環境省の「脱炭素先行地域」に四国の自治体として唯一選ばれています。地域循環型脱炭素社会実現に向け町内に100%自給率の再生可能エネルギーを循環させる取り組みを進めています。

15:20

講演
3

温泉に付随する可燃性ガスの利活用に向けて ーメタン直接改質反応による水素生成ー

北見工業大学 機械電気系 准教授 坂上 寛敏

地域循環共生研究推進センターは2つの部門で構成されています。ひとつは、「温室効果ガス分離・採取」、「グリーン水素製造・利用」、「二酸化炭素回収・利用」に取り組む技術開発部門です。そして、オホーツク地域の生活・産業における「エネルギー利用実態分析」、生活・産業・地域循環新技術における「炭素循環・ライフサイクルCO2の解析」、「地域循環システム構築手法の開発」、「気候変動解析と環境影響評価」に取り組む評価部門です。地域の特色を反映した持続可能な脱炭素社会の実現に向け研究に取り組んでいます。

16:00 ● 閉会

閉会挨拶

国立大学法人北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター長
北見工業大学 副学長

渡邊 康玄

主催：北見工業大学

共催：国立大学法人北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター、北見工業大学社会連携推進センター

自然と調和するテクノロジーの発展を目指して